

情報ネット後志

NO.8 2012年 6月

発行：後志農業改良普及センター

地域の話題

平成23年度に成果の上がった活動

グループ・組織の活動紹介



担い手の確保と普及活動

所長 金光 優

管内の農業経営体は、後継者不足等により年々減少し平成22年度には2,896戸となっています。そのなかで新規就農者は年間30～50人程度で推移し、内訳は学卒5割、Uターン3割、新規参入2割という状況です。地域農業の発展には担い手の確保と育成が重要です。農業改良普及センターは経営や技術的な支援を通して「意欲を持って働ける経営体づくり」、「時代に即した生産システムの構築」、「後継者が残り得る所得の確保」による担い手の確保を農業者との合意と関係機関との連携を図りつつ推進します。

「わざわざくるくる農産物直売所 魅力をアップしよう！」

担当：高付加価値主査



いま、地域活性化の担い手として、期待されているのが「農産物直売所」です。

管内でも、ニセコビュープラザ直売会やルスツ230農林水産物直売所をはじめ、各農産物直売所が、観光客の人気スポットとなっています。しかし、一方では、直売所めぐりが盛んになり、新鮮・安全だけでは、集客が難しくなっています。これからは、一般のスーパーでは手に入らない野菜や地域資源を活用した農産加工品が購入できるなど、「わざわざ来てもらう魅力づくり」が求められています。

普及センターでは、北海道らしい食づくり名人の安達英人氏を招き、「農産物直売所の魅力をアップさせよう！」をテーマに、講習会を開催しました。

安達氏から、「売りたい物は、入口にたくさん並べる」「初出荷は、初出荷シールを貼る」など、品種選びから売り方まで、目から鱗のお話をいただきました。

当日は、約60名の参加があり、「魅力アップのために、まだまだすることがあったんだ！」との声が聞かれました。どんな魅力がプラスされるのか、お楽しみに。



熱心に聞き入る直売所関係者の皆さん

平成 23 年度に成果の上がった活動

「ご当地メニュー、あなたの一票で決める！～ワンコイングランプリの開催」 (蘭越町 4 H クラブ) 担当：本所 地域第一係

「本日は心ゆくまでお楽しみ下さい！」

平成 23 年 10 月 22 日。場所はホテルポールスター札幌を会場に、約 50 名の参加者を前にし、蘭越町 4 H クラブ会長 福岡修平さんの緊張で震える開会宣言ではじまりました。

今回の趣旨は、地域の活性化を目標に、地元蘭越町の農産物を利用した 500 円程度のご当地メニューのコンテストをテーマに、また併せて茨城県北海道事務所と連携し、東北大震災で大きな被害を受けた茨城・福島県の農業者も応援する内容の企画も盛り込みました。

コンテストでは、まず町内から選ばれた 5 作品を基にホテルにて再現。その中からグランプリ作品を会場の参加者で選考するというもの。

また茨城県の主力米品種である「コシヒカリ」と北海道の「ゆめぴりか」の食べ比べ（官能テスト）も実施しました。

今回の開催を通じ、蘭越町農産物の P R、そして消費者からの生の評価、4 H クラブ員の「社会力の醸成」と、大きな成果を生む繋がりとなりました。

今年度も彼らの活躍から目が離せない一年となりそうです。



コンテスト開始！



お米の官能テスト



グランプリ受賞作



「シート被覆によるホワイトアスパラガスの品質向上」

～遮光シート被覆で美肌効果?!～ (喜茂別町)

担当：本所 地域第三係

地域の特産品「ホワイトアスパラガス」を死守せよ！

喜茂別町の特産品であるホワイトアスパラガス（以下Wアスパラ）は、融雪後に培土を行い遮光状態を作りだし、若茎を収穫します。収穫が遅れると伸びてきた若茎が培土から出て日光にあたり着色し、品質が低下します。また、収穫最盛期には早朝と昼間の一日2回収穫が必要です。さらに収穫作業は経験を要するため雇用確保が難しい現状にあります。このような背景から、Wアスパラの作付面積は減少傾向にあります。そこで、地域が一丸となり、遮光シートのべたがけ被覆によるWアスパラの品質向上と収穫作業の負担軽減を目指し活動を展開しました。

地域が一丸となって導入推進！

町役場、JA、普及センターが連携し、H21から現地実証や技術導入支援に取り組みました。遮光シート被覆による最大のメリットは若茎の着色が抑制され肌が真っ白になることで、大幅な品質向上につながります。普及センターと町は現地研修会や導入検討会を開催し、遮光シート導入の効果や留意点等の情報を提供しました。町はWアスパラの生産振興策の一環として、シート購入に対する助成を開始しました。

地域へ波及！

現地検討会や導入検討会などの参加や利用者からの情報が口コミで伝わったことで、遮光シートの効果が理解され、導入農家は増加しています。町内のWアスパラ生産者40戸のうち、遮光シート導入農家はH22が4戸、H23が14戸であり、本年はさらに4戸増え18戸（導入率45%）となりました。また、生産者が主体的に工夫し、収穫時のシート開閉作業の省力化が図られています。

遮光シートの導入はWアスパラの品質向上、収穫作業の軽減、所得の向上が期待できるアイテムとして地域に大きく波及し続けています。

「遮光シートのべたがけ被覆」とは？
Wアスパラの培土を専用のプラスチックフィルムで被覆し、収穫時にのみ開閉する方法。収穫作業が1日1回ですむ。

【期待される効果】

- 遮光による若茎の着色抑制
- 地温確保による若茎伸長促進
- 収穫作業の負担軽減

1日2回収穫が
1回でOK!



被覆なし



被覆あり



【導入農家の感想】

パートさんに収穫を頼むと取り残しが多くて規格外品が多かったけど、シートを使ったら製品率が格段に上がった。



融雪が遅れても地温が早く上がるから収穫開始は心配してたほど遅れなかったよ。低温が続いても収穫量が落ちないし、さび症も少なくなった!



グループ・組織の 活動紹介

若い力で後志の元気を発信！

担当：広域人材育成主査

広域青年組織「STAFF（スタッフ）」は後志管内の10の4Hクラブや青年団体に構成され、仲間づくりを目的に活動しています。昨年、「力を合わせて大きな事業を成功させ、更に絆を深めよう」と大規模なイベント「第1回アグリフェスティバル」を企画しました。

共和町で開催されたこのイベントの来場者数は延べ1500人。30張りのテントで囲まれた広い会場では地域色を活かした農産物が並びま



元気な声に引き込まれる来場者



盛り上がったチャリティー大抽選会

した。祭りを盛り上げる催しにも工夫をこらし、訪れた方々に大盛況。企画から開催まで自らの手で行ったイベントが大成功を収めたことで、若い青年たちに団結力が生まれ、絆を深めることができました。

そして今年、平成24年9月9日（日）ルスツふるさと公園特設会場において第2回アグリフェスティバルを開催します。準備段階から熱のこもった話し合いが重ねられ、今年も期待を集めています。

3年目を迎えた「しままき軽トラ市」

担当：南後志支所 地域係



人気のアスパラ

人気のアスパラ 消費者との交流が楽しく、ついつい値引きしたり、オマケが多くなったりと、お祭りのような賑わいです。

4月の実行委員会で、今年は雨天決行!!、昨年より2回増やし5～11月まで毎月開催を決定。第1回（5月5日）は、後志一早いアスパラガスや、前日に山採りした天然の山菜（ギョウジャニンニク、うど、アズキ菜、ミツバ、たけのこ、こごみ）など島牧ならではの品揃えが魅力でした。

島牧農業振興会（会員26名）内の農山加工グループ（9名）が中心となり、「しままき軽トラ市」を開催しています。昨年は6月から10月まで月一回、道の駅「よってけ！島牧」の駐車場で開きました。取れたて農産物や山菜の直売に、村内各地から詰めかけ、車を乗合わせてくる常連グループもあり、今や村民の楽しみの一つとなっています。



開店から1時間が勝負です!!

後志農業改良普及センター本所

住所 虻田郡倶知安町旭57-1
TEL 0136-22-1072
FAX 0136-22-4744
shiribeshi-nokai.1@pref.hokkaido.lg.jp

南後志支所

住所 寿都郡黒松内町字黒松内309
TEL 0136-72-3161
FAX 0136-72-3456
shiribeshi-nokai.minami1@pref.hokkaido.lg.jp

北後志支所

住所 余市郡余市町朝日町11番地1
TEL 0135-22-5135
FAX 0135-22-5987
shiribeshi-nokai.kita1@pref.hokkaido.lg.jp